



平成 29 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社 博報堂D Yホールディングス
代表者名 代表取締役社長 戸 田 裕 一
(コード番号 2 4 3 3 東証第一部)
問合せ先 I R 部 長 八 木 聡
(TEL 0 3 - 6 4 4 1 - 9 0 3 3)

当社連結子会社の業績予想の修正について

当社の連結子会社である D. A. コンソーシアムホールディングス（東証第二部 コード番号：6534）が、通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想の修正を本日公表しました。

なお、本件による当社連結業績に与える影響は軽微です。

平成 29 年 3 月期連結業績につきましては、現在精査中ではありますが、現時点では、概ね平成 29 年 3 月期第 3 四半期決算発表時に公表しました見通しに近い数値を見込んでおります。当社の業績に関して、今後開示すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

当社の平成 29 年 3 月期連結業績につきましては、平成 29 年 5 月 12 日に発表を予定しております。

以 上

平成 29 年 4 月 26 日

各 位

会 社 名 D.A.コンソーシアムホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢嶋 弘毅
(コード:6534、東証第二部)
問合せ先 グループ経営企画ユニット 社長室
(TEL. 03-5449-6200(代))

連結業績予想及び配当予想の修正ならびに
連結子会社における特別損失及び当社における営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月 26 日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、下記のとおり平成 29 年 2 月 3 日に開示した平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。また、平成 30 年 3 月期通期連結業績予想についても開示いたします。

なお当社は、共同株式移転の方法により、平成 28 年 10 月 3 日付でデジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社（以下「DAC」といいます。）及び株式会社アイレップ（以下「アイレップ」といいます。）の株式移転設立完全親会社として設立されたため、前年同期の実績はございません。

記

1. 業績予想の修正及び次期業績予想の開示について

(1) 平成 29 年 3 月期 連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	170,000	5,100	5,000	2,550	43.71
今回修正予想 (B)	184,779	6,928	3,728	209	3.92
増減額 (B-A)	14,779	1,828	△1,271	△2,340	
増減率 (%)	8.7	35.9	△25.4	△91.8	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	—	—	—	—	—

(2) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
平成 30 年 3 月期通期	205,000	7,200	7,200	3,800	65.08

※ 上記予想はいずれも本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(3) 業績予想修正の理由

当社は、世界的なスマートデバイスの普及やマスメディアのデジタル化等を背景としたインターネット広告市場の継続的な成長のもとで、DACを中心とした「パートナー事業」、アイレップを中心とした「クライアント事業」の強化を推進し、両社の連携関係構築を軸として迅速かつ一体的な戦略策定を進め、経営統合のシナジー効果を発揮することを目的として、平成28年10月3日に両社の完全親会社として設立されました。平成29年3月期連結業績は、ブランディング目的など多様な利用が拡大している動画広告や、SNSやメッセージングサービスなどの成長メディアが牽引するスマートデバイス向け広告、データを活用した配信が可能な運用型広告などの売上が拡大し、好調に推移しました。その結果、売上高は前回予想を約147億円上回り、営業利益は前回予想を約18億円、35.8%上回る見込みとなりましたので、平成29年2月3日に公表した平成29年3月期通期業績予想数値を上方修正いたします。

一方、当社連結子会社であるDACにおいて、同社の関連会社株式に関して減損処理を行い、評価損として特別損失を計上する結果、当社においては、平成29年3月期決算において持分法による投資損失（営業外費用）を計上することとなり、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、平成29年3月期通期業績予想数値を下回る見込みです。

また、参考として平成30年3月期の通期連結業績予想を開示いたします。

2. 連結子会社における特別損失及び当社における営業外費用の計上について

上記(3)業績予想修正の理由に記載のとおり、当社連結子会社であるDACは、平成29年3月期決算において同社の関連会社株式に関して減損処理を行い、評価損として特別損失3,332百万円を計上します。またその結果、当社においては、平成29年3月期決算において持分法による投資損失（営業外費用）2,926百万円を計上いたします。

3. 配当予想の修正について

(1) 平成29年3月期 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成29年2月3日公表)		—	—
今回修正予想		15円	15円
当期実績	—		
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	—	—	—

※ 上記配当予想は本資料発表日現在の予想数値であり、実際の配当は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(2) 配当予想修正の理由

当社は、企業体質の強化と将来的な事業拡大に備えるために内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を充実させることを経営の重要課題と認識しております。中長期的な企業価値の向上を目指し、資金需要の状況、業績の動向等を総合的に勘案しながら、安定した配当を継続的に実施することを配当の基本方針としております。

平成29年3月期の期末配当予想につきましては「未定」としておりましたが、上記の基本方針に基づき、1株当たり15円の配当を行う予定です。